



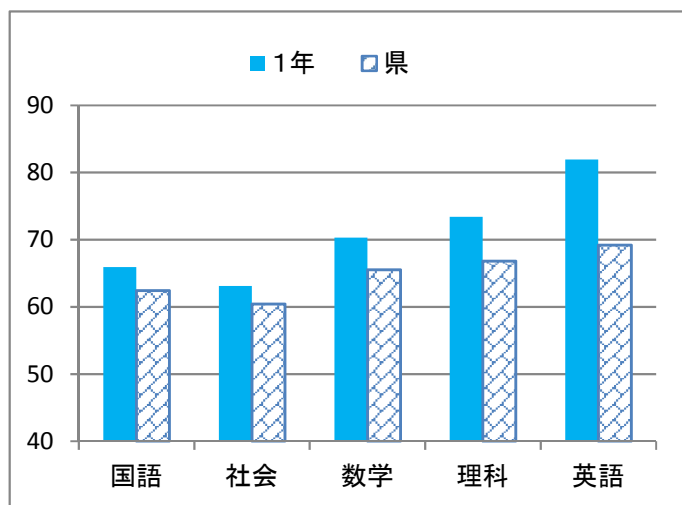
いちい

八郎潟中学校
校 報 NO. 12
平成31年2月1日発行

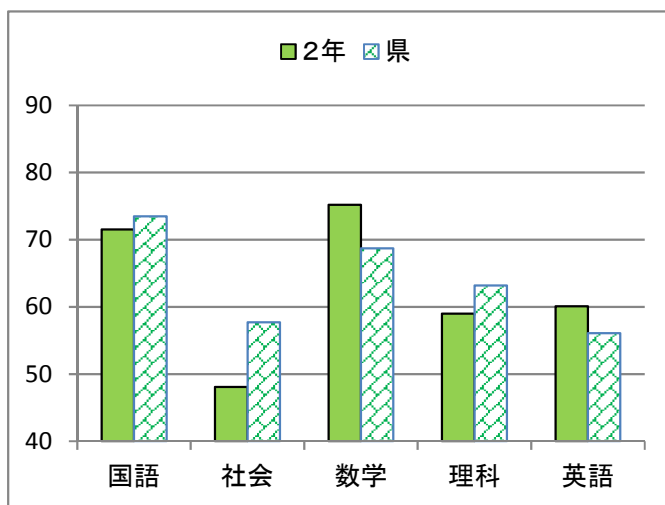
県学習状況調査（1・2年生）の結果をお知らせします

昨年12月6日、1・2年生を対象に県学習状況調査が行われ、結果が次のようにまとまりました。この調査は子どもたちの学習の到達度や定着度などを把握して、よいところは一層の充実を図り、不足している部分については、子どもや保護者の皆様とも問題点を共有し、授業の改善や生活の見直しを図っていかうとするものです。個人の結果については、後日、個票を配付して個別にお知らせする予定です。

1年生



2年生



[1年生]

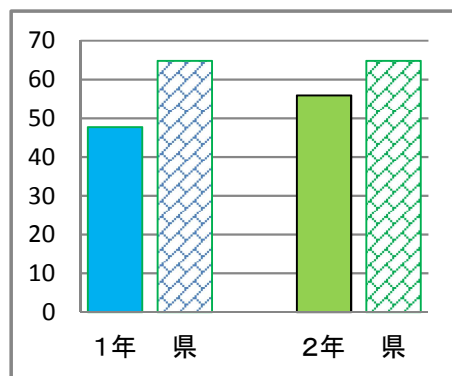
このように全教科で県平均を上まわりました。特に数学・理科・英語の成績が県平均を大きく上回っています。その中でも英語の成績が群を抜いています。これは本町が幼児教育の段階から英語教育に力を入れている成果の表れと言ってよいと思います。たいへん良好な結果ではありましたが、この調査は順位競争ではありません。この結果に満足することなく、さらに大きく伸ばすことができるよう、しっかり指導していきたいと思います。

[2年生]

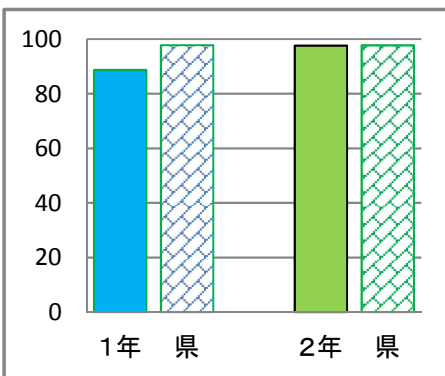
全体的に見れば全県とほぼ同じレベルではありますが、このように数学が大きく県平均を上回っているのに対し、社会が逆に大きく落ち込んでいます。よい教科についてはさらに伸ばすことができるよう、また不十分な教科については補足的な学習に取り組むなどして指導の在り方を見直し、力をつけていきたいと思います。

◇勉強についての主な質問

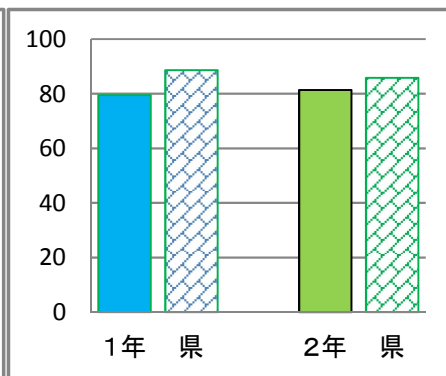
「勉強が好きだ」



「勉強は大切だ」



「学校の勉強がよくわかる」



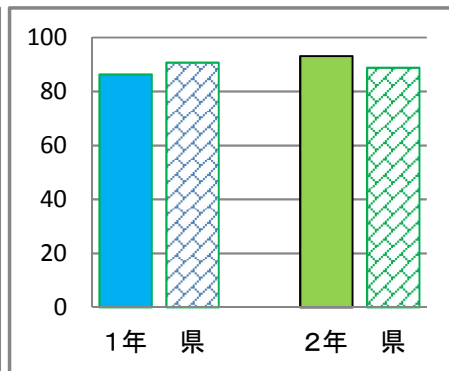
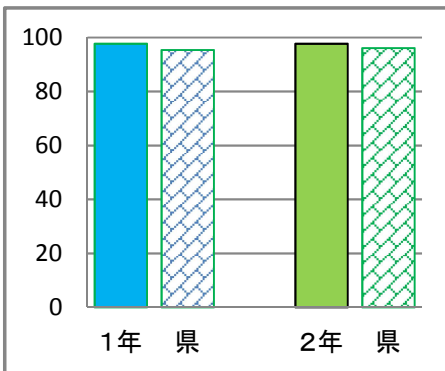
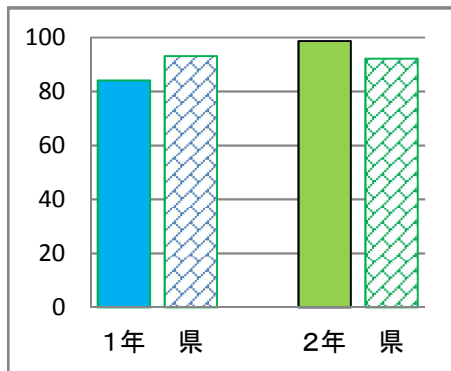
1・2年生ともに「勉強が好きだ」とする割合が県平均より低いことがたいへん残念です。学校評価アンケートには「楽しい授業をしてほしい」という生徒からの声がありました。このように多くの生徒が「勉強は大切だ」と考えているので、子どもたちの期待に応えることができるよう授業改善に努めるとともに、子どもたちの思いに寄り添った学習活動ができるよう頑張りたいと思います。

◇学校生活に関する主な質問

「学校が楽しい」

「学校のきまりを守っている」

「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」

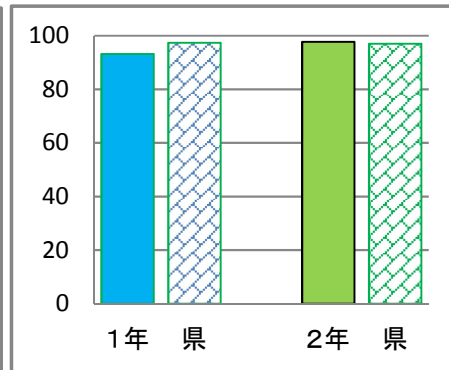
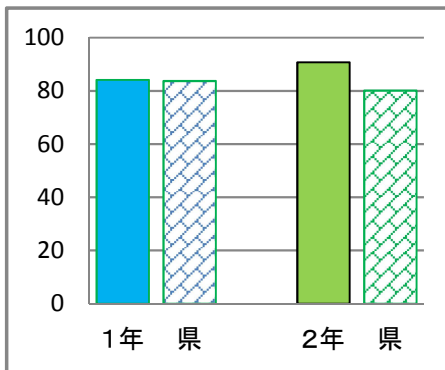
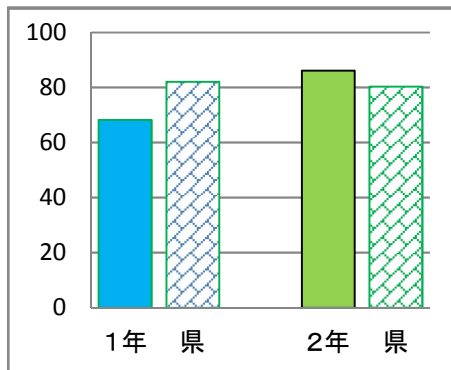


◇生き方に関わる主な質問

「自分にはよいところがあると思う」

「将来の夢や目標をもっている」

「人の役に立つ人間になりたいと思う」



学校生活に関する質問から、1・2年生ともに大多数の生徒が「学校が楽しい」と感じています。しかし、「楽しくない」と感じている生徒が少なくないことも事実です。学校では定期的に生活アンケートや面談等により子どもの実態を把握し、寄り添うことでいじめ防止や困り事の解決等に努めておりますが、保護者の皆様からお気づきのことなどございましたら、どうか遠慮なくお知らせくださいようお願い申し上げます。

生き方に関わる質問では、1年生の自己肯定感が低いことが気になります。表の調査結果のとおりやればできる子たちです。部活動や生徒会活動などにも積極的に取り組んで頑張っています。もっと自分に自信がもてるような場の設定や声かけを実践して、一人一人が自分のよさを実感できるよう支援していきたいと思います。自己肯定感・自己有用感を高めるために、これからも職場体験やボランティア活動などのさらなる充実を図って参ります。また、「将来の夢や目標をもっているか」という質問については全員から「ある」と回答してほしいものです。そのためには大人が手本を示しつつ、上手に導くことが肝要と考えます。よいアイデアや提言などがございましたら、遠慮なく学校までお知らせください。

◇授業に関する主な質問

最後に、授業に関する質問についてお知らせします。本校では授業づくりにおいて①授業のめあてを生徒と一緒に考えるなど、導入を工夫する。②授業中に意図的に話し合い活動を取り入れる。③授業の最後に学習を振り返る活動をする。という3つの共通実践事項を設定しています。下のグラフが示す結果から、県と比べてもまだまだ改善の余地がある結果となっております。この結果を真摯に受け止め、授業改善を図ってまいります。

「目標を立てて授業に取り組んでいる」「授業中に話し合う時間がある」

「最後に学習を振り返る時間がある」

